

令和5年5月1日

高知県立大学における研究不正事案に対する学長コメント

高知県立大学 学長 甲田 茂樹

高知県立大学は地域に開かれた知の拠点として、地域社会の課題解決に貢献する教育研究活動を展開してきており、とりわけ研究活動では「知識基盤社会を支えていく新たな知を創出する大学」を目指してきました。そのためには、教職員一人一人が高い倫理観を持ち、公正に学術的な研究活動を行うことが必須となります。特に、専門とする研究分野での高度な知識・技術を身に着け研鑽することはもちろんのこととして、研究不正防止の確固たる意識や適正な個人情報への取扱いや著作権の保護などが研究者に強く求められます。

しかしながら、今般、高知県立大学教員の研究活動において特定不正行為（盗用）が発生したことは誠に遺憾であり、県民の皆様に深くお詫びいたします。

本大学としましては、研究不正防止に関わる規則の順守・徹底とチェック体制の厳格化を図り、研究不正の再発防止に一層尽力してまいります。